

【資料 1】 審議事項

第 1 号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ伊那市リハーサル大会開催基本計画（案）

第 1 号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ 伊那市リハーサル大会開催基本計画（案）

1 目的

信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会、以下「国スポ・全障スポ」という。）に備えて、伊那市で開催する競技別リハーサル大会（以下「リハーサル大会」という。）については、長野県（以下「県」という。）の「第 82 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項」及び「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会伊那市競技運営基本計画」に基づき、競技会の運営能力の向上と市民の機運醸成を図るため、県、競技団体、関係機関および関係団体（以下「県等」という。）と協力して開催する。

2 リハーサル大会の選定

リハーサル大会は、県等との協議により選定する。

3 リハーサル大会の運営

リハーサル大会は、原則として国スポ・全障スポに準じて運営するものとし、競技団体と協力し、目的や実情に応じて、必要最小限の経費で創意工夫を凝らし、質の高い効率的な大会運営に努める。

4 内容

(1) 実施本部の設置

リハーサル大会の運営に万全を期するため、大会実施本部を設置する。

(2) 競技運営

ア 競技運営の主管は県および競技団体とし、信州やまなみ国スポ・全障スポ伊那市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、県および競技団体との緊密な連携のもと、合理的かつ効率的な運営に努める。

イ 競技記録の収集及び速報については、競技団体との緊密な連携のもと、迅速かつ正確な記録の収集および速報に努める。

(3) 式典

ア 開・閉会式および表彰式（以下「式典」という。）は、競技団体と協議し、競技運営に支障のないよう簡素化に努める。

イ 式典で使用する音楽は、デジタル音源等の活用するなど簡素化に努める。

(4) 施設

リハーサル大会で使用する施設は、原則として国スポ・全障スポで使用する競技会場を充てることとし、できる限り国スポ・全障スポと同じ条件により行う。

また、リハーサル大会の運営に必要な仮設施設については、県等および施設管理者と協議のうえ整備する。

(5) 競技物品

リハーサル大会に必要な競技物品については、既存物品を活用することとし、不足する場合は借用での対応を基本とする。また、物品を新たに購入する場合は、国スポ・全障スポ等での使用を考慮し、必要最小限とする。

(6) 広報・市民運動

国スポ・全障スポに対する市民の理解を深め、市民総参加の機運を醸成するため、広報活動および市民運動を展開する。

(7) 観光・おもてなし

リハーサル大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員およびその他関係者ならびに一般観覧者（以下「リハーサル大会参加者等」という。）に心のこもったおもてなしを提供するため、必要に応じて歓迎装飾や案内所、休憩所、売店等を設置する。

(8) 医事・衛生

リハーサル大会参加者等の傷病に速やかに対処するため、関係機関等の協力を得て、医事救護体制を整えるとともに、清潔で快適な環境整備に努める。

(9) 輸送交通

リハーサル大会参加者等の輸送については、原則として既存の公共交通機関を利用する。ただし、公共交通機関の状況やその他の事情により必要と認めるときは、計画輸送を行う。

(10) 警備・消防

リハーサル大会を安全かつ円滑に運営するため、関係機関等と連携し、火災その他災害、事故等の未然防止に努めるとともに、非常時における緊急対応に万全を期する。

5 その他

(1) この計画に定めるもののほか、必要な事項は、市実行委員会の各基本計画に準じて実施する。

(2) 信州やまなみ全障スポ（ポ第 27 回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会については、長野県「信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会」が主体となって実施する。